

会報

第58号

# いまだ青春

編集発行

公益社団法人  
萩広域シルバー  
人材センター

～生きがいと地域のニーズを結びます～



金谷天満宮の撫で牛



	監					理	常	理
	”	”	”	”	”	事	務	事
職	藤	大	村	堀	長	長	田	高
員	村	田	田	永	谷	岡	中	壽
一	季	直	郁	孝	義	繁	寛	良
同	志	志	子	春	明	雄	治	行
								敏
								雄

令和三年 元旦



# 新年のご挨拶



萩市長  
藤道 健



新年おめでとうございます。  
会員の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。  
萩広域シルバー人材センターにおかれましては、昭和六十一年の設立以来、長年にわたり高齢者の豊富な知識や経験を生かした就業の機会を提供することにより、地域づくりを進めてこられました。

就業を通じて、会員の健康維持や社会参加に大いに寄与されるとともに、地域社会の活性化、福祉の向上にも貢献していただいているシルバー人材センターの活動に、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

毎年、多くの依頼がシルバー人材センターへ寄せられていることは、会員の皆様方への信頼の表れであり、何よりも誇れる勲章ではないかと存じます。

少子高齢化が急速に進む今日において、生涯現役として多様な形で社会参加することが求められています。このような中、活力ある高齢社会を支える地域の中核的な組織として、シルバー人材センターの担う役割は一層重要なものとなっております。

さて、日本国内における経済の動向は、昨年から新型コロナウイルス感染症の影響により急激に減速しており、経済活動の縮小、景気低迷、雇用情勢の悪化の懸念など、極めて厳しい状況にあります。

本市におきましても、特に観光業をはじめ様々な業種において、売上減少等により事業経営に支障をきたしている市内事業者の状況を踏まえ、スピーディーかつ効果的な対応をすべく、市独自の支援策を講じてまいりました。

新型コロナウイルス感染症拡大による地域経済の回復には長期化も予想されることから、市としては支援を必要とする皆様に寄り添い、市民生活及び経済活動の平常化に向けた施策の充実に、引き続き取り組んでまいります。

つきましては、会員の皆様におかれても知識や能力を生かし、社会を支える一員として、自主的、自発的に就業、ボランティア活動、地域活動など、幅広く社会に参加・貢献していただけるようお願いするとともに、市といたしましても、今後もシルバー人材センターの運営を支援してまいりたいと考えております。

シルバー人材センターにおかれましては、今後もさらに多くの高齢者の方に入会していただくとともに、長年培ってこられた技術や経験を生かす就業先や新規事業の開拓など、会員のニーズに応える職の開拓に積極的に取り組んでいただき、萩市基本ビジョンに掲げる「支え合い助け合い、生き生きと暮らせる健康・福祉のまちづくり」の一翼を担っていただくことを期待しております。

最後になりましたが、貴センターの益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝とご多幸、更なるご活躍をお祈り申し上げ、新春のご挨拶いたします。



理事長  
中村 敏雄



皆様にはお健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年一年間は、新型コロナウイルスが猛威を振るい、我が国を含め全世界的に大変な混乱を生じさせました。

この新型コロナウイルスに加え、昨年は梅雨明けが平年より2週間近く遅れ、雨量も平年の162%を記録、そして梅雨明け後の猛暑と、まさに自然界の出来事に翻弄された一年となりました。

さて、シルバー人材センターが世界に例を見ない我が国独自の制度であることはご案内のとおりですが、社会福祉六法の一つで昭和三十八年八月一日に施行された「老人福祉法」の中で、老人福祉法の基本的理念として、「老人は、その希望と能力に応じ、適当な仕事に従事する機会その他の社会的活動に参加する機会を与えられるものとする。」と、書かれています。

シルバー人材センターは、まさに、この「老人福祉法」に書かれている基本的理念を実践するために昭和五十年に誕生した組織であります。誕生した当初は、福祉法制と労働法制のはざまに位置していましたが、昭和六十一年にシルバー人材センターのことが「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」の中に規定されてからはやや労働法制に軸足を傾けることになりましたが、前述の「老人福祉法」を見る限り、シル



阿武町長  
花田 憲彦



明けましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

依然として新型コロナウイルスの不安が残る中、会員の皆様には「自主・自立、共働・共助」の理念の下、地域社会の活性化に貢献されておられることに対し、敬意と感謝を申し上げますとともに、私ども行政の業務につきましても多大なご支援・ご協力をいただいております。ここに、心から厚くお礼申し上げます。

さて、本町におきましては、第七次阿武町総合計画を策定し、地方創生に積極的に取り組み、人口定住対策、一次産業の振興、人のつながりづくりなどを重点施策として進めています。

こうしたこともあって、人口減少は相変わらず進んでおりますが、国勢調査によるここ十年間では、転入と転出の差である社会増減はプラスに転じており、本町への移住希望のお問い合わせの数も増えています。

町ではこれまでに、住宅取得補助金のほか定住奨励金制度、子育て支援策といたしまして、高校生までの医療費の完全無償化、保育料を副食費も含めて完全無償化を図るなど、定住促進には特に力を注いでおり、定住に不可欠な要素である雇用の創出についても、新たな企業の町内への新工場進出協定も、昨年十一月二十七日に締結し、今年夏までには操業も開始される予定となっております。

一次産業においても、Uターン者が増え、空き家を活用した店舗がオープンしたり、また、今後の出店計画もあり、町の所々に新しい風を感じる場所があります。そして、そうした町の様子を、SNSなどによって情報発信を行うことで、まちのサポーターとなる関係人口や町内の活力となる活動人口が着実に増えています。本年は「まちの縁側推進プロジェクト」である、道の駅阿武町に隣接するキャンプ場の完成や、無角和種百周年の記念すべき年であり、これにより、今まで阿武町のことを知らなかった多くの方が町を知り、そして興味を持って来町され、町の隅々まで足を伸ばし、町内の方を含め、町を深く理解していただくことで、更なるヒト、モノ、お金の町内循環を高め、町独自の魅力づくりと活性化に勢いをつけようとしていくところです。

貴団体におかれましては、地域住民の高齢化企業の定年延長などの要因により、会員不足が懸念されている中ではありますが、本町におきましては庁舎管理業務をはじめ、コミュニティワゴン運転業務、園児送迎業務、清掃管理業務などを始めとした多くの業務についてご貢献をいただいているところであり、会員の皆様のご活躍が地域にとってなくてはならない存在となっております。

今後、地域社会において、高齢者の役割は益々重要になっており、町内にも小さな困り事が増えてきています。皆様の卓越した技術と豊かな経験が、地域を助け、また、地域の活性化につながることを切に願っています。

終わりに、萩広域シルバー人材センターの益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝で一層のご活躍されることを心からご祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。

バー人材センターはやはり福祉の考え方が底流にあることがよく分かります。このように、シルバー人材センターは、老人福祉法の精神に立脚しながら「就業」と「生きがい」を結び付けていることから、よく「日本型福祉社会組織」と言われることもあります。シルバー人材センターの生みの親と言われている東京都高齢者事業団初代会長の大河内一男氏もこのように言われています。

「地域の中で積極的に自分の能力を活かすことは高齢者の社会的義務であり、そのためには働くことが必要であり、働くことの中に生きがいを見つけなければならぬ。」と。

当センターも、これまで長年にわたり老人福祉法に定める基本的理念の具体的実践者として、就業を希望される高齢者の皆様方に対しお仕事を提供し就業機会の確保に努めてきたところであります。

会員の皆様お一人お一人が今後も永く会員として在籍していただき、就業を通じ少しでも人生の生きがいを感じ取っていただければ、センターにとってはこの上ない喜びであります。終わりにあたり、新型コロナウイルスの収束を願う本年丑年が災害や事故のない平穏な一年になりますよう、また会員の皆様そしてご家族の皆様にとりまして最良の年となりますよう心よりお祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。



講座・講習会・教育訓練



9/25 らくらく健康セミナー  
健康寿命について学んで元気なアクティブシニアになるための実践を行いました。



10/22 「刈払機取扱講習会」  
(高齢者活躍人材確保育成事業)

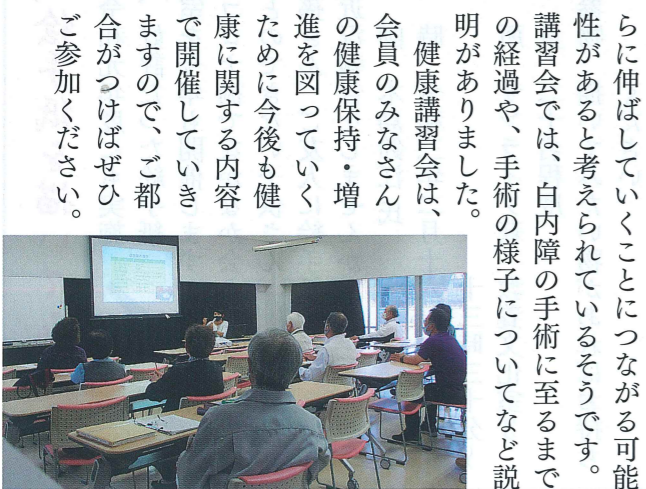


10/27 「シニアライブ講座」  
豊かなシニアライフに向けての講演と、  
ホームストレッチの実践を行いました。  
(高齢者活躍人材確保育成事業)



10/29 美祿会場 萩広域からの参加者4名  
11/11 山口会場 萩広域からの参加者7名

教育訓練(派遣労働者会員を対象)  
「接遇(マナースキルアップ)、個人情報管理(コンプライアンス)等」について学びました。



衛生委員会  
健康講習会の開催

去る十一月十九日、サンライフ萩においてシルバー派遣事業衛生委員会の主催により「健康講習会」が開催され、十一名の会員が参加されました。講習会では、「白内障の診断から治療まで」と題し、「産業界で、衛生委員会委員でもある医療法人さながら眼科クリニック副院長の相良絵見先生から講演をいただきました。

視覚障害は生活の質に大きく関係すると言われており、目の異常にもっと注目していくことで、要介護に至るリスクを減らし、ひいては健康寿命をさらに伸ばしていくことにつながる可能性があります。講習会では、白内障の手術に至るまでの経過や、手術の様子についてなど説明がありました。

健康講習会は、会員のみならず、健康保持・増進を図っていくために今後も健康に関する内容で開催していきますので、ご都合がつけばぜひご参加ください。

令和2年度の事業運営状況(9月末まで)

会員数は、令和元年度末には501人でしたが、令和2年9月末では463人となり、38人の減、前年度9月と比較しても22人の減となっています。

新型コロナウイルスの影響もあり、入会説明会への参加を遠慮される方もあることなどから入会者が少なくなっています。

また、退会者は昨年と同時期と比べ22人増え、66人となっています。退会についても新型コロナウイルス感染のため、人との接触を敬遠され、退会される方もあるほか、死亡や本人の病気・体調不良による退会も増えております。

会員数の状況 (単位:人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	3月末
令和2年度	494	484	478	460	461	463	
令和元年度	495	487	479	477	480	485	501
比較	-1	-3	-1	-17	-19	-22	

9月末までの受託事業は、件数、契約金額とも前年度と比較して減となっています。主な要因として新型コロナウイルス感染拡大のため、施設管理、駐車場整理、観光地受付業務、観光地ごみ収集、トイレ清掃などの業務が減ったことと会員の高齢化や減少により剪定、草刈などの受注件数が減ったことが挙げられます。

受託事業実績 (単位:件数:件, 契約金額:円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
2年度							
件数	282	255	323	290	324	273	1,747
契約金額	13,484,546	16,791,215	17,831,700	18,967,912	19,461,899	16,707,594	103,244,866
元年度							
件数	323	338	337	353	302	355	2,008
契約金額	15,215,206	19,328,517	19,383,684	20,587,185	17,924,281	18,090,615	110,529,488
比較	-41	-83	-14	-63	22	-82	-261
契約金額	-1,730,660	-2,537,302	-1,551,984	-1,619,273	-1,537,618	-1,383,021	-7,284,632

会員拡大にご協力を!

シルバー事業の維持・発展を図っていくためには、会員の増強は不可欠であります。会員の皆さまにはご多忙の折、大変お手数をおかけしますが、引き続き「会員一人一会員獲得運動」の推進をお願いします。

令和元年10月から山口県シルバー人材センター連合会では、「会員紹介報奨制度」を導入され、入会者を紹介された個人会員には、入会者1名につき500円相当の「萩市共通商品券」1枚が交付されることになっています。ご友人やお知り合いの方々に入会を勧めていただき、一人でも多くの方の入会にご協力をよろしくお願いいたします。



健診を受けましょう!



今年度の退会者は例年に比べて多くなっていますが、本人の病気や体調不良で退会された会員が増えているほか、亡くなられた会員もいらっしゃいます。また、県内で発生している重篤事故の中には、会員の疾病が影響しているのではないかとと思われる事案があります。シルバー人材センターの会員資格の基本は「健康で働く意欲のある方」です。皆さんの健康管理は、就業するための基本となります。市町や後期高齢者医療広域連合が実施している健康診査の年一回のチャンスを逃さず、必ず受診しましょう。

新型コロナウイルス感染防止

新型コロナウイルスは全国的に未だ感染拡大が収まっていない状況です。新型コロナウイルス感染症の感染予防のため「新しい生活様式」の実践に努力されているところですが、季節性インフルエンザの流行期と重なり、インフルエンザと新型コロナウイルス感染症は、症状での判別が難しく、両方を疑って検査を行う必要があります。今後、発熱などの症状がある場合は、まず身近な医療機関で相談や検査、診療を受けられることをお勧めします。今後も「新しい生活様式」の実践を継続し、密閉・密集・密接のいわゆる「3密」となる場所を避け、「人と人との距離の確保」「マスクの着用」「手洗いの励行」をはじめとした基本的な感染対策の徹底をお願いします。



### 事故緊急時の連絡 シルバー人材センター 休日及び時間外

#### 緊急連絡先

( 萩 ) ☎090-7974-5503  
 (阿 武) ☎080-5628-9530  
 (むつみ) ☎080-5628-9535  
 (須 佐) ☎080-5611-9328  
 (田万川) ☎080-5611-9334

安全就業は、シルバー人材センターにとって最も重要なことです。事故が起こればセンターの信用を損なうことになりかねません。安全就業の周知徹底と意識の高揚を図るため十月三十日(金)に安全パトロールを実施しました。

堀永孝春安全委員長、田中寛治安全副委員長、田中靖彦安全委員、長岡修業務課長の四名で萩地域の草刈、田万川地域の草刈、須佐地域の剪定、むつみ地域の剪定の就業現場を巡回し、事故防止対策の状況確認を行いました。

昨年九月末までに以下のような事故が発生していますが、いずれも注意すれば防げる事故です。さらなる安全意識を持って就業してください。

### 安全委員会だより



#### 令和2年度損害賠償事故状況

事務所	事故発生日	就業内容	事故状況・原因	損害の程度	事故後の対策	就業実態
萩	2.7.31	草刈作業	個人宅周辺の草刈作業中、小石が飛び、玄関のガラスを破損した。	玄関の引き違いガラス戸破損	作業前に現場周辺の障害物等状況確認を十分に行い作業にあたるよう指導した。	会員4名で就業

#### 令和2年度傷害事故状況

事務所	事故発生日	就業内容	事故状況・原因	損害の程度	事故後の対策	就業実態
田万川	2.5.27	草刈作業	草刈作業中、足を滑らし高さ約2mの崖から落下し負傷した。	第12胸椎圧迫骨折 通院治療 全治3か月	事前に草刈現場の状況確認を十分に行い作業にあたるよう指導した。	会員9名で就業

#### 令和2年度派遣業務事故状況

事務所	事故発生日	就業内容	事故状況・原因	損害の程度	事故後の対策	就業実態
萩	2.9.3	運転業務	デイサービス利用者の送迎中、対向車と離合する際相手の車に接触した。	双方の車両損傷	予め道幅の広い箇所での退避し安全確保に努めるよう指導した。	会員4名で就業

### 令和2年度 ボランティア活動の一部



6/10 高俣地区 穴観音古墳跡 (むつみ) 清掃作業 3名参加



8/27 旧奈古高等学校周辺 (須佐) 草刈作業 4名参加



8/27 萩市須佐中学校 (須佐) 剪定作業 3名参加

### 普及啓発・ボランティア活動

十月十七日(土)、全国シルバー人材センターの事業普及啓発促進月間に、当センター萩事務所では、普及啓発活動としてアトラス萩店においてチラシ配布等を行いました。

配布している最中には入会やセンターが受注している仕事の内容についてご相談もいただき、約一時間で三〇〇セットを配り終えました。

今年度は新型コロナウイルスの影響で、各地域のお祭りが中止になったことから思うように勧誘活動等を行うことができませんでした。また、当センターでは各地域でそれぞれ清掃作業や剪定作業などのボランティア活動も年間を通して行っています。

ご協力いただきました会員の皆様、誠にありがとうございます。今年度参加できなかった会員の皆様も含めまして、積極的なご参加をよろしくお願いいたします。

#### ◆新入職員紹介◆



藤井 朋美 (むつみ出張所所長)

九月に入所しました。精一杯頑張りますので、よろしくお願ひいたします。

#### 「絵手紙を描いてみよう」

令和元年度にも実施し、好評だった絵手紙教室を今年も開催します！コロナ禍でなかなか会うことのできない子供さん、お孫さん、ご友人に絵手紙で近況報告をしませんか？

講師 木島鈴江氏

日時 令和三年二月十六日(火) 十三時三十分～

場所 サンライフ萩 教養文化室3 定員 二十名程度

持参物 描いてみたい物があればお持ちください。

お申し込みは、事務局(電話二六〇五〇五)まで。

※今後の新型コロナウイルスの感染状況によっては中止となる場合もあります。



# 理事会報告

令和二年度ではこれまで三回の理事会を開催しています。

報告事項と決議事項は次のとおりです。

## ●第1回理事会（4月28日開催）

### (1) 報告事項

第1号報告 理事長の職務の執行状況報告

### (2) 決議事項

- 第1号議案 専決処分の承認の件（令和元年度収支予算書一部補正に係る専決処分）
- 第2号議案 専決処分の承認の件（新規入会者に係る専決処分）
- 第3号議案 新規入会者承認の件
- 第4号議案 令和二年度会員表彰対象者承認の件
- 第5号議案 令和元年度事業報告承認の件
- 第6号議案 令和元年度収支決算承認の件（監査報告）
- 第7号議案 常務理事の新設に伴う定款及び関係規程の整備に関する規程制定の件
- 第8号議案 役員候補者決定の件
- 第9号議案 令和二年度定時総会招集決定の件

## ●第2回理事会（6月2日開催）

### (1) 決議事項

- 第1号議案 専決処分の承認の件（新規入会者に係る専決処分）
- 第2号議案 新規入会申込者について理事長の選定について
- 第3号議案 常務理事の選定について
- 第4号議案 常務理事の選定について

## ●第3回理事会（10月23日開催）

### (1) 報告事項

- 第1号報告 職務の執行状況の報告
- 第2号報告 「令和二年度 第一回・第二回広報委員会」報告
- 第3号報告 「令和二年度 第一回安全委員会」報告
- 第4号報告 「令和二年度 第一回適正就業・就業拡大委員会」報告
- 第5号報告 「令和二年度 第一回福祉・家事援助委員会」報告

### (2) 決議事項

- 第1号議案 専決処分の承認の件（新規入会者に係る専決処分）
- 第2号議案 令和二年度収支予算書一部補正承認の件
- 第3号議案 材料費等に関する見積基準一部改正の件
- 第4号議案 就業規則一部改正の件
- 第5号議案 理事長の報酬額改定の件

## 配分金所得と確定申告について

シルバー人材センターで得た「配分金収入」は所得税法上「雑所得」に区分され、六十五万円まで控除されます。一月下旬に「配分金支払証明書」を送付しますので、確定申告で必要な方は、各自で手続きをしてください。

### 令和三年配分金支払日

- 1月25日(月) 2月25日(木)
- 3月25日(木) 4月23日(金)
- 5月25日(火) 6月25日(金)
- 7月21日(水) 8月25日(水)
- 9月24日(金) 10月25日(月)
- 11月25日(木) 12月24日(金)

### 表紙に寄せて

今号の表紙は、今年の干支にちなんで「金谷天満宮の撫で牛」です。境内には、撫でることご利益をえられるという「撫で牛」の像が置かれています。

## 編集後記

令和二年は、コロナで始まりコロナに終わったような年でした。

世界に広がったパンデミックにより経済の縮小や生活様式の変化など、国民生活に大きな支障をもたらしており、私達シルバーの仕事も御多分に漏れないところです。

そうしたことから、今号はコロナ感染予防や健康講習会関連記事を掲げています。

私達シルバー会員は、高齢者リスクが高いこともあり、健康でいることが難しい状況にあります。

皆さんが健康に暮らせる一助になりますよう情報提供をしていきたいと思っていますので、よろしく願います。

## 広報委員会構成員

- 委員長 長谷 義明
- 副委員長 長山 雅範
- 委員 長岡 繁雄
- 委員 齋藤 敏男
- 委員 高壽 良行
- 委員 中村すみれ